

議会広報広聴委員会記録

令和7年2月19日（水）

13時29分～15時10分

第4委員会室

【出席者】 村武委員長、村木副委員長、
肥後委員、大谷委員、三浦委員、沖田委員、川上委員、
土野委員、西田委員、川神委員

【議長団】 笹田議長

【事務局】 下間局長、村山書記、小寺主任主事

議題

1 はまだ議会だよりminiについて……………資料1

(1) 第36号掲載内容及び原稿担当

(2) その他

2 はまだ議会だよりVol. 77について……………資料2-1、2-2

(1) ページレイアウト

(2) 掲載記事及び原稿提出締切

(3) その他

3 高校生との意見交換会について……………資料3

(1) 実施内容確認

(2) その他

4 議会報告会について……………資料4

(1) 実施方法詳細協議

(2) その他

5 はまだ市民一日議会について……………資料5

(1) 実施方法詳細協議

(2) その他

6 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[13 時 29 分 開議]

○村武委員長

ただいまから議会広報広聴委員会を行う。出席者は8名で定足数に達している。川上委員と上野委員から欠席届が出ている。

1 はまだ議会だよりminiについて

(1) 第36号掲載内容及び原稿担当

○村武委員長

書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○村武委員長

はまだ議会だよりmini(以下、mini)の掲載項目を2項目決めねばならない。資料に案が上がっている。はまだ市民一日議会(以下、市民一日議会)と地域井戸端会についてminiを使って周知していきたいと考えている。常任委員会や特別委員会から、ぜひこれを書いてほしいという内容があれば言ってもらいたい。

(「この案で良い」という声あり)

ほかにはないようなので、市民一日議会と地域井戸端会の周知ということでよろしいか。

(「はい」という声あり)

では正副委員長で書かせていただく。議員のつぶやきをどなたかにお願いしたい。

○肥後委員

私が。

○村武委員長

肥後委員をお願いします。原稿の提出締切りは3月10日月曜日の1時までとなっている。3月定例会議でお忙しいとは思いますがよろしくをお願いします。

(2) その他

○村武委員長

議会だよりminiについて、そのほかに何かあるか。

(「なし」という声あり)

2 はまだ議会だよりVol. 77について

(1) ページレイアウト

(2) 掲載記事及び原稿提出締切

○村武委員長

書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○村武委員長

事務局から説明があったように、今回レイアウトの関係と業者の関係もあって、市民対談は削除させていただきたい。今までもページレイアウト上そういったことがあったかと思う。そこに関していかがか。

○三浦委員

通年4回の発行スケジュールは事前に決まっていて、この間のスケジュールも当初からおおむね見えていたはずである。なぜこのタイミングでページ数削減になるのか。

○村山書記

16ページであれば問題ないのだが、正副委員長との協議内で14ページという計算になり、残り2ページをどうするかという話になった。今回は市民一日議会のチラシ差込みもあるため、それを入れて16ページと話していたのだが、事業者を確認すると、それだと差込みが2枚になり間に合わないと言われたため、正副委員長と協議した結果12ページとした。

○三浦委員

なぜ12ページなのか。

○下間局長

今回は一般質問者数が少なく、委員会代表質問もなかったため。

○三浦委員

16ページから14ページにするのが難しいというのは紙面構造上分かるのだが、16ページという限られた紙面を有効活用するのが基本スタンスだと思っている。それを減らすのは議会から発信する情報量が少なくなることなので、すんなり賛成しかねる。むしろ16ページの紙面割の中できちんと市民対談も取り組んで、ほかの2ページに別の企画を載せる方向で考えるべきでは。

○村武委員長

2ページ分何かないかと正副委員長で考えたのだが、なかなか難しかった。一つには、高校生との意見交換会の報告もあるのでそれを載せても良いのだが、2ページ分となるとボリュームが大きい。1ページ分載せることはできると思う。もう1ページ分を皆から提案いただきたい。

○沖田委員

はまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）や地域井戸端会の広報に使ってはいけないのか。少なくとも去年は、1ページ使って地域井戸端会を周知したほうが良いのではないかという意見があり、ごもっともだと思った。まちづくりセンターにポスターを貼っても誰も見ない、それなら全戸配布する広報紙の紙面を使って、ほかの記事を削ってでも載せるべきだとのことだった。例えば市民一日議会と地域井戸端会とで半ページずつ載せたら良いと思う。

○村武委員長

4ページ目の半分を使って議会報告会開催のお知らせを作っている。市民一日議会はチラシを折り込むのだが、それとは別に半ページ使って市民一日議会の周知を入れる方法もあると思う。そうしたらあと半分、何か考えないといけない。

○西田委員

高校生との意見交換会を1ページに収めなければいけないのか。

○村武委員長

いけなくはない。

○西田委員

高校生も市民である。市民対談は2ページあったので、高校生との意見交換会も2ページ使えば良い。若者の声を吸い上げるような紙面にアレンジし多種多様な意見をしっかり吸い上げて広報でお返りする。浜田市議会は高校生との意見交換をととても大事にしているイメージにつながる。若者が喜ぶような紙面にしてあげたら良い。

○村武委員長

実は事務局から最初に出された案では、高校生との意見交換会は2ページあったのだが、それだとボリュームが多いように私も副委員長も感じたので少なくしたのが今日提案した内容である。2ページにするということなら、それは大丈夫である。

○西田委員

文字ばかりでなく写真も載せて、良い雰囲気高校生と意見交換している様子が伝わるようにしてほしい。

○村武委員長

そうすると市民対談も入れられて、高校生との意見交換会は2ページ取る、議会報告会が半ページあるのでそれでも良いと思う。皆はどう思うか。

○村山書記

2ページになる高校生との意見交換会の場所だが、せっかくページがあるなら、今回ぎかいポストにも投稿意見があったので載せても良いかと思った。ページ数を4ページ減らす方向なら載せられなかったが、それを載せるとなると高校生との意見交換会は丸2ページでなくても、1ページ半でも良いと思う。

○村武委員長

今回はページ数を減らす方向で考えていたので、ぎかいポストの掲載も難しいためホームページからご覧いただくように考えていた。市民対談を2ページ載せて、あと1ページ半くらいで高校生との意見交換会をしっかりと載せて、残り半ページでぎかいポストの投稿意見について、という形によろしいか。

○小寺主任主事

補足である。令和6年5月の地域井戸端会開催のお知らせは、左ページ半分を使っている。下には議会改革度調査のことも載せていた。今回も同じタイミングで出てくるかもしれないので、間に合えば掲載を検討できると良い。

○村武委員長

議会改革度調査の結果はいつ頃出るのか。

○小寺主任主事

去年は4月になる前だったのだが、今年はもしかしたら間に合わないかもしれない。

○村武委員長

結果的に載せられるかどうかは分からない。もし議会改革度調査は載らないとなると、高校生との意見交換会を1ページ半にするということで大丈夫か。

○小寺主任主事

状況を見て。

○村武委員長

去年のときも急に入れようということになったのだろうか。

○小寺主任主事

はい。

○村武委員長

ではそこは柔軟に対応させていただきたいと思うが、よろしいか。

(「はい」という声あり)

それを踏まえて、そうなると事前に用意した担当者一覧のとおりにならないため、担当者を決めていきたい。

(以下、協議)

表紙……三浦委員

3月定例会議 今回はこれがポイント……村木副委員長

3月定例会議 議会注目事業の概要と着眼点……総務：村武委員長・沖田委員

西田委員

福祉：三浦委員

産業：大谷委員

議案等の賛否の公開…議会事務局

議会報告会のお知らせ…議会事務局

高校生との意見交換会…正副委員長・西田委員

市民対談…インタビュアー：沖田委員（浜田地域循環共生協議会 矢口伸二 氏）

まとめ：大谷委員

委員会活動レポート…各委員会委員長へ依頼

後書き…沖田委員

(3) その他

○村武委員長

その他何かあるか。

(「なし」という声あり)

3 高校生との意見交換会について

(1) 実施内容確認

○村武委員長

はまだ協働学舎ファンタス（以下、ファンタス）にお願いしているのだが、教育魅力化コーディネーターにも入ってもらっているいろいろな検討中である。ファンタスも先日、学生サポーターと共にテーマを考えているようである。

報告書とアンケートの内容を決めないといけない。資料内容を見てご意見があればお願いします。

○三浦委員

意見交換会のアンケート内容は事業目的を確認できる質問である必要があると思うが、これで良いのだろうか。この意見交換会の一番の目的が主権者意識醸成の推進なら、この活動が有効かどうかを聞くなど。自由回答欄でそれを求めれば良いとは思いますが。例えば、今回のやり方で高校生と十分なコミュニケーションが取れたと思うか、コミュニケーションの中で意識醸成が図れるようなやり取りがあったかなど。意見を聞いて議員が今後の対応を考えるならこれで良いと思うが。

○村武委員長

議員が今回の意見交換会を実施して、コミュニケーションがスムーズに取れたかどうかを聞けば良いのだろうか。

○西田委員

例えば、議員という仕事についてどれくらい理解が深まったか、政治に対する関心が深まったかなど。一般的な仕事と比べて議会の仕事をどのように感じたか。

議会は市民福祉のために老若男女の意見を吸い取って市政に反映させるために一生懸命考えて、我々との意見交換をしていただいているのだという思いを高校生たちに抱いてもらいたい。将来自分も政治家を目指そうと思ってくれたら。議員の仕事をどこまで理解できたかを問い掛けても良い。

○村武委員長

それは学生に向けてのアンケートか。

○西田委員

はい。

○村武委員長

学生に向けたアンケートは一応2番目に「議員と対話することで議会や議員を身近に感じられましたか」という項目を設けている。

○西田委員

それは分かっている。身近に感じるのと、議員という仕事をどこまで理解したか、関心が深まったか、理解できたかを知りたい。身近に感じるという段階で終わってはいけない。

○大谷委員

今回の企画をすること自体が主権者教育醸成の第一歩と捉えられる。きちんとし

たものが出てくれば確かにありがたいと思うが、あまり絞らずに自由意見として思っていることを書いてもらい、そこから酌み取る形で十分では。

○村武委員長

高校生にとっても議員との意見交換会は初めてだと思うので、なるべくいろいろ書いていただけるアンケートにしたい。三浦委員、西田委員、大谷委員から意見をいただいたので、正副委員長で再検討してから皆にLINE WORKSで見えていただきたいと思うがどうか。

(「はい」という声あり)

参加人数やテーマについては、近いうちに報告があるので皆にLINE WORKSで確認してもらい、3月18日の全員協議会で報告させていただきたい。よろしいか。

(「はい」という声あり)

(2) その他

○村武委員長

高校生との意見交換会について、そのほか何かあるか。

(「なし」という声あり)

4 議会報告会について

(1) 実施方法詳細協議

○村武委員長

村山書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○村武委員長

内容とチラシについて事務局から説明いただいた。基本的に内容は昨年と同様に考えているが、何か意見があればお願いします。

○沖田委員

テーマに基づく意見交換は毎回あまり好評ではないのだが、今年もやるのか。

○村武委員長

そういう意見もあることは承知している。しかし各常任委員会の取組課題もあると思うので、もしかしたら常任委員会から「これについて地域井戸端会で聞いてみたい」という意見もあるかもしれない。委員の意見も聞きたい。三浦委員、福祉環境委員会はどういう感じか。

○三浦委員

委員会活動とひも付くようなことは非常に効果的だとは思う。昨年度にテーマを掲げて伺ったとき、こちらからはこういったことについてお話を伺いたいのだと伝えるとそれについての意見ももちろん出るのだが、それ以外のことでも良いかという声は確かに多かった。テーマを決めずに行っても委員として関心のある内容について質

問する形で伺うことはできるだろうし、テーマを決めてもほかのことをお聞きすることもあるだろう。結局はどちらにせよ、そこに臨む前に委員会内で「こういったことを皆にお聞きしてみよう」という意識が共有されていれば、仮にテーマを掲げなくても意見は吸い上げられると思う。

○村武委員長

テーマを決めると、自分が言いたいテーマと合わないので行かないといった意見は聞いたことがある。

○大谷委員

議会側から伺いたいテーマを絞ってお伝えすることは当然あると思う。逆に意見聴取という意味だと、意見を言いたいから参加する感じの方が多いので、テーマを限定するようなニュアンスが伝わらないほうが良い。今までのようなテーマ設定もありとは思いますが、基本的には言いたいことを言ってもらうほうが参加しやすいのでは。

○村武委員長

ポスターに伺いたいテーマを毎回書いているのだが、先ほど三浦委員が言われたように、委員会で聞きたいことがあれば会場で議員から話を振ることもできる。

○沖田委員

テーマを決めてからというもの「逆にこのことを聞いて」という意見が必ず出る。特に神楽伝承館や郷土資料館については市民から質問されることもある。確かに議員側から聞きたいテーマはあるが、今回は取組課題が変わっておらず顔ぶれが一新されたわけでもないので、前回と同じテーマでまた同じことをするという雰囲気は否めない。議員側が聞いてみたいテーマを持っていたとしても話の流れの中で質問を挟んでみる程度にとどめて、あまりテーマをくくらないほうが良い気がする。

○村武委員長

今年はテーマを決めず、各委員会でも市民に聞いてみたい事柄があれば委員会内で話し合っただけ、会場で聞くこともできるかと思う。

今年はテーマを決めずにやっていく方法でよろしいか。

○沖田委員

もしそれでやるなら、40分・40分の80分取っているのを変えても良いのでは。皆忙しい中で来ているのだから時間の長さの意味も違って来るだろう。短時間でしっかり意見を伺うのが良い。

○村武委員長

大体2時間を目安に実施しているのだが、開催時間ももう少し短くということか。

○沖田委員

会場によっては時間延長もある。そこはケースバイケースで延長は現地の判断によるだろうが、一応設定するのは負担が少ない時間配分を考えても良いのでは。

○村武委員長

2時間と決めていて少し早目に終わるのは良いと思うが、最初から1時間半などと設定しておき、延長するなら延長するということか。

○沖田委員

会場によっては数人しか来ないところもあるし、何十人と来られるところもある。何十人と集まった場合は話し足りないので時間が延びてしまう。それは班の判断かと思う。逆に少人数なら長い時間だとつらい。短く設定しておいて、それを延ばすか延ばさないかは班長の判断にするのが一番無理がない。

○村武委員長

皆はどう思うか、意見を伺いたい。

○西田委員

時間は多少柔軟性を持って良いと思う。テーマも、この会場は去年こういうテーマでこういう意見を聞かせていただいた、それはそれなりにまとめさせていただいたが、それに関してか、新しいテーマがあれば地域性に合ったものを班にお任せしたら良い。毎年続けていることなので、去年の話を持ち出すなど継続しているような流れでも良いし、特に地域課題につながるテーマを班にお任せしても良い。

○村武委員長

テーマに関しては委員会で協議して、聞きたい意見があればそれを出してもらおう。また地域性もあるので、会場を見て地域課題についての話は班の判断にお任せして投げ掛けても良いと。

○西田委員

去年と同じ方が来られているところも結構あるので、その方が去年どういう意見を交換されたか、情報を一旦踏まえた上で行ったほうが良い。

○村武委員長

昨年の各会場でどういった意見が出たのかは、会場ごとの報告書にまとまっている。それを班に確認してもらい、去年はこういう話だったと簡単に報告するということか。

時間を短くしたら良いのではないかという意見についてはいかがか。今までは2時間だったが、1時間半くらいか。実施時間は2時間だとチラシなどにも書いてあるので、最初から1時間半だと書いたほうが良いのか。1時間半くらいなら出てみようと思う方もおられるかもしれない。1時間半でよろしいか。

(「はい」という声あり)

では時間は1時間半、テーマは委員会と各班の判断にお任せする。冒頭で昨年話し合われたことを少し説明するというところでよろしいか。

(「はい」という声あり)

各班には必ず当委員会の委員が入っておられるので、うまくいくようリードしていただけたらと思う。

各委員会でのテーマ協議については、必要であれば一応委員会で投げ掛けていただいても良いかと思う。テーマを決めたほうが良いかどうかを決めておくか。

○沖田委員

委員会としてこれを聞いてみたいということ。

○村武委員長

委員会内で協議して、特段ないのであればそれはそれで良い。チラシにもテーマは書かない。よろしいか。

(「はい」という声あり)

では昨年と同じような形で進めていけたらと思うが、よろしいか。

(「はい」という声あり)

(2) その他

○村武委員長

そのほか、地域井戸端会について何かあるか。

(「なし」という声あり)

5 はまだ市民一日議会について

(1) 実施方法詳細協議

○村武委員長

村山書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○村武委員長

今の説明についてご意見がある方はお願いします。一つ、募集人数を毎回10人と決めているが、今年度は11人とした。定員は10人と明記して良いのか。以前、10人程度といった表現でも良いのではないかという意見もあったが、私の個人的な意見では10人なら10人と決めて、10人でやれば良いのではないかと思う。これについてご意見をいただきたい。

○大谷委員

10人でよろしいかと思う。去年の場合は漏れた方が入っておられて、その方を入れて11人となった事情があり、協議した結果11人になった。今後どうなるか分からないのだから一応10人という枠で、万が一、協議するような内容があれば都度協議するとして差し支えないのでは。

○村武委員長

10人としてよろしいか。

(「はい」という声あり)

では10人とさせていただく。

もう一つ。今年度がそうだったのだが、最初なかなか応募者が集まらなかったことから、締切日時点で3、4人しか募集がなかったときの対応も少し考えておいたほうが良いのではないか。例えば3人しか応募がなくても3人のまま実施するか、あまりにも人数が少ないなら締切りを延ばすか。これについてもご意見いただきたい。

○大谷委員

基本的に市民の声を受けるわけなので、どなたかが動いてその声をあえて作る必要はないのでは。迷っている方がおられたら背中を押すことはありだと思いが、基本は出てきたものをそのまま受けるものだと思う。

○沖田委員

今回のチラシに「第4回目は11名の方に参加いただき」とある。事実11名参加なのだが定員は10人なので、「毎回大勢の方に参加いただき」などとぼかした書きぶりのほうが良いのでは。なぜ去年より1名削られたのかという話になりかねない気がする。

○村武委員長

承知した。そこは考える。今は応募人数が少なかった場合に関して、少なれば少なくとも良いのではないかという意見だったかと思うが、それでよろしいか。

(「はい」という声あり)

今年度は前の年に漏れた方がおられたので11名という形にしたが、前に応募されて漏れた方もおられた場合のことは、来年度は特段考えなくても良いか。

(「はい」という声あり)

市民一日議会にいただいた意見の返答については、今年度と同様でよろしいか。基本的に全員協議会で協議して決めているのだが。

(「はい」という声あり)

ではそういった形で、令和7年度の実施に向けて進んでいきたい。皆のご協力をよろしく願います。

(2) その他

○村武委員長

その他、市民一日議会について何かあるか。

○大谷委員

開催時期が異なるので致し方ない面も感じるが、募集期間がどうしても短くなる。申込締切日を下げ、できるだけ募集期間を確保することは難しいのだろうか。

○村山書記

発言者の資料提出期間などを設けているので、こちらから送った通知を発言者が見られてから準備を始めると考えると、発言者の準備期間が短くなって難しいと判断してこの日程としている。その期間を縮めて良いということであれば募集期間を延ばすことは可能である。

○村武委員長

前は締切りが9月9日で開催日が10月20日だったので、その間しっかり資料や発言準備などができたかと思う。今回は1か月くらいしかないので、今よりさらに募集期間を延ばすとすると、発言者にとって準備期間が少ないように感じる。いつもとは時期も違うしタイトなスケジュールになるが、地域井戸端会などでご案内していただくなどでもできると思うので、皆ぜひご協力をお願いします。

○村山書記

地域井戸端会は会場を押さえてからでないといけないので4月11日にしているが、市民一日議会については3月18日の全員協議会報告後であれば募集が可能のため募集開始を早めることは可能と思われる。

○村武委員長

市民一日議会の募集開始をもう少し早めることに関して、皆はいかがか。

(「それで良い」という声あり)

では募集開始を少し早めるということで、大体いつぐらいが良いか。

○村山書記

3月18日の全員協議会で報告した後であればいつでも良い。

○村武委員長

日程はこちらで調整して、また皆にお知らせする。ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

6 その他

○村武委員長

今後の開催日程は、4月4日金曜日の9時からと考えている。議会だより77号の校正とmini37号、市民一日議会と議会報告会について。よろしいか。

○大谷委員

なぜ9時からなのか。

○村山書記

議会だよりをこの日に校正して同日中に事業者へ返す必要があるため、できるだけ早く集まりたい。

○村武委員長

それでは次回は4月4日金曜日9時からということで、よろしく願います。

ほかにはないか。

(「なし」という声あり)

それでは、議会広報広聴委員会を終了する。

[15 時 10 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 村武 まゆみ